

きんもくせい

平成29年 学校教育だより

May **5** 第333号

(年4回発行)

編集・きんもくせい編集委員会

発行・埼玉県富士見市教育委員会

電話・049-251-2711 (内線623)

編集目標 人間尊重の教育を求めて



大きく育て！野菜たち！！

写真提供／関沢小学校

綺麗な言葉

本郷中学校二年

竹田 想礼

もしまた会えたら、
これまで会えなかった分の、
「ありがとう」を、
「ごめんなさい」を、
「好き」を、
もつと優しい言葉を、
励ましの言葉を、
楽しい言葉を、
言いたい。
言いたい人がいる。
でも会えないから。
一期一会の出会いだったと、
気付くのが遅すぎて。
だから、
いつでも綺麗な言葉を胸に。

仲間同士で支え合う力を育てる

ピア・サポートという言葉を知っていますか。勝瀬小学校では、誰もが知っている言葉です。ピア・サポートとは、あたにかいかわりにより、仲間同士で支え合う活動です。サポート（支える）というのは、「してあげる」「助ける」というレスキューではなく、支える人も、支えてもらう人も自分にできることを見出し、取り組んでいくことです。

勝瀬小学校では、

- ① ベーシック活動（みんなで取り組む）
 - ② アドバンス活動（特に関心を持った児童が取り組む）
 - ③ リーダー活動（高学年の希望者が取り組む）
- の三次元で行っています。そして、ピア・サポートの一つとして、「宝物ファイル」という取組を行い、自己肯定感を高めるとともに、他者を認め、受け入れることを大切にしています。

自己肯定感を 『宝物ファイル』の実践

指導者 勝瀬小学校教諭 楠井 陽子

宝物ファイル

宝物ファイルとは、自分にとってうれしいものや大切にしているものをファイリングしていくもので、総合的な学習の時間（キャリア教育）や学級活動の時間に、自分のよさに気づき、個性の伸長を図ることを目的として取り組んでいます。

授業実践

本校では「互いに認め合い、主体的に学び合う児童の育

互いを認め合い、 高める『宝物』

＝ 小学校 特別活動 ＝
わかる授業

活動中の教師のかかわりとしては、児童に積極的に声をかけし、活動が活発になるようにするために、具体的な言葉を使ったり、詳しく書いたりしている児童を称賛して、内容を全体に広めたり、黒板に具体的な言葉の例を掲示したりして、戸惑っている児童を支援します。

また、児童が主体的に活動ができるようにするために、活動の流れを黒板に可視化しました。示した活動の展開は次のとおり



です。

特別支援教育

「きみの学級で」

水谷小学校教諭 新井 玲子

教室の床に貼られた等間隔の番号。これは掃除で各自の分担と順序の目印だ。ロッカーには写真や文字で物の置き場所が示されている。片隅には周囲が気にならないように配置された机がある。授業では感情のコントロールや場面に応じた会話の練習も行う。

めは、この学級で学ぶ子どもたちの自立に向けて「生きる力」を育てるた

その中で多少ドタバタしながらも自分なりに取り組んでいく強さこそ、子どもたちに必要な生きる力だろう。成功体験や達成感は大切だが、それらにとらわれないかもしれない。さて明日はどんなことを仕掛けていこうか。次の一手を練りながら、予期せぬ展開も期待している自分がいる。子どもたちが将来どんな人生を創っていくのか、今の体験がどう繋がっていくのか、想いを巡らせながら子どもたちとの瞬間を大切にしたい。

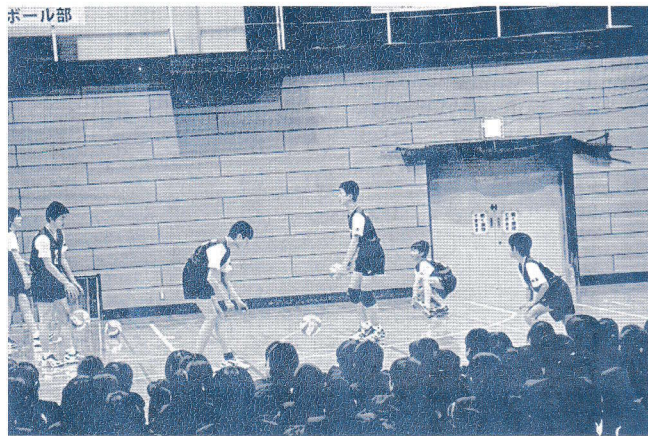
西中学校 3年 杏
佐野

子どもたち

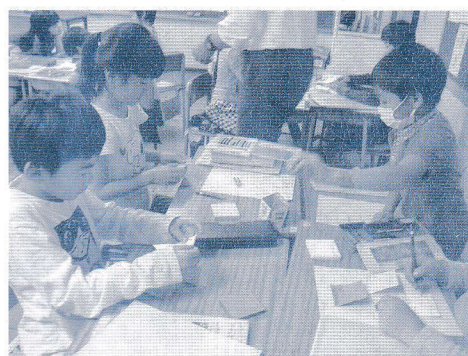
富士見西中では4月に新たな仲間となった1年生を迎える新入生歓迎会や各部活動の魅力や雰囲気伝えるため、部員たちが作り上げる部活動オリエンテーションがあります。今年度の新入生歓迎会では西中についての説明の他にも西中〇×クイズを行い、学校全体

新入生歓迎会・部活動オリエンテーション

が盛り上がりました。部活動オリエンテーションでは部活ごとに3分以内でPRや実際にプレーなどを披露します。どの部活も個性を出し、1年生も楽しめる素敵なイベントになりました。このように西中は、全校生徒が楽しめる行事が沢山あります。そのような西中のよさがいつまでも輝き続けることを願っています。



に於いて、付箋に夢中になって書き込んでいました。



授業を展開するにあたり、まず大切にしたいことは、「自分が知らないよい部分」を友達から引き出してもらうこと。そして、自分のよさを知り、個性を伸ばすこと、友達の気持ちを書き、相手の嫌がることを書かないことです。

児童は、友達のよいところを進んで見つけ合い、お互いのよさを認め合うことを大切に

- ① クリアポケットファイル（二冊）付箋紙、色上質紙、カラーペンを用意する。
- ② 学習のめあてを知る。
- ③ ルールや気を付けることを確認する。
- ④ 友達のよいところを付箋紙に書く。
- ⑤ 付箋紙を友達に渡す。
- ⑥ 友達からもらった付箋を、読んでファイリングする。

このような、自分のよさを友達から認めてもらったり、肯定的であたたかいメッセージをもらったりする取組は、自己肯定感の向上や、仲間同士のあたたかい人間関係の構築につながると考えています。

成果と今後の課題

ピア・サポートを始めてから、保護者や卒業生などから学校の雰囲気がよくなったという声が聞かれるようになりました。また、その裏付けとして、学校生活に対する意識調査で、友達から信頼されていると感じている数値も向上しています。今後は、より個々の児童の実態に即した指導・支援を充実させるとともに、保護者や近隣幼稚園・保育園とも連携し、ピア・サポート活動を広げていきたいと考えています。

指導・講評

勝瀬小学校校長 板橋 三宏
仲間のよさを見つける活動をしている児童の顔は、どの児童も笑顔でした。席に戻り仲間が書いてくれた「自分のよさ」を読んだ児童は、離れた席に座っている自分のよさを書いてくれた仲間を笑顔を送る……。

いじめ、不登校の問題がクローズアップされる今、学校では自己肯定感を高め、他者を認める心の育成が求められています。本授業はその実現を目指すための確かな実践です。笑顔溢れる学校を目指し、勝瀬小学校ではピア・サポートと宝物ファイルの活動を継続しています。

共に育つ

関沢小学校保護者 吉原 智博

うちには、三人の娘がおり、三人目が生まれたときに、一念発起して保育所で保護者会の会長を務めました。子どもたちの環境整備のための活動をしていく中で、ある大きな出来事がありました。保育発表会の観覧中止です。上の子のクラスは、年長で最後だったことから誰もが楽しみにしていました。簡単に諦めることができず、他の保護者の署名を集めて市役所にお願ひに行きましたが、願ひはかなわず……。

けれども、このことがきっかけで、学童やPTAでも会長を続けることになりました。一人の親としても周りの方々と協力し合いながら、様々な活動をしていく事で、自身にも成長の糧になっていくと感じました。

確かに、会社に勤めながらの活動は大変です。それでも、子どもたちの成長の瞬間を特等席で見守ることができ、新たな方々とのたくさんのお出合いや地元ならではの旧交を温めることができるのも、この活動を続ける原動力になって

います。仕事も忙しくなったり、SNSで攻撃をされたりすることもありました。それ以上に子どもたちの笑顔や大人たちからの感謝の言葉があり、社会の中で学び多き場面だと感じていきます。だからこそ、自分には無理だと足を踏み出していない方々に、こちらのフィールドに来てほしいと思っています。

今後の三人の娘(星)の輝きにも負けないように、親として、大人としての成長を続けていければと思います。



どもたちが楽しそうに遊んでいる姿を見ると、準備やお手伝いは大変ですが、本当にやってよかったと思います。

我が子は今年四年生と一年生になりました。

まだまだ学校生活が続きます。私たち親も、積極的に学校に携わり、子どもたちの笑顔が増えるように、また、見られるような活動を先生やサポーターさんたちと一緒に続けていきたいと思っています。



三つの伝統

東中学校

東中学校では、「あいさつ」、「清掃」、「交通マナー」の三点が伝統として先輩から引き継がれています。

「あいさつ」は廊下等ですれ違ふとき、生徒たちは自分から進んで爽やかなあいさつを交わします。登校時は、生徒会や生活委員会が校門の前に立ち、あいさつ運動を行います。「清掃」は、「きれいな校舎はきれいな心をつくる」と

いう考えの下、生徒全員が毎日隅々まで丁寧に清掃します。「交通マナー」は自転車の乗り方です。生徒会や学年委員が中心となり、呼びかけを行っています。並列走行の禁止と横断歩道の渡り方等は、東中生が安全な登下校を行うための大切なルールです。

これらの伝統は、生徒主体の委員会活動の呼びかけによって守られています。生徒たちが伝統を守り、引き継ぐことで、生徒一人一人が生きる力を伸ばし、活気のある学校に繋がっています。



ちが伝統を守り、引き継ぐことで、生徒一人一人が生きる力を伸ばし、活気のある学校に繋がっています。

教育課題特集

生きる力を

はぐくむ

～学校・家庭・地域から～

育てて、食べて、笑顔輝く学校ファーム

みずほ台小学校

五年生では総合的な学習の時間に、校外にある学校ファームで農業体験活動に取り組みています。畝づくりやマルチ張りなどを地域の方に教えて頂きながら、二十種類を超える野菜を育てています。水やりや草取りをし、寒さの中で野菜の上に降り積もった雪を下し、収穫までには多くの苦勞があることを知り、農業の大変さを体感しました。夏には甘いスイカやトマト

を食べ、冬は育てた野菜で鍋料理を作り、収穫の喜びを味わいました。さらに自分の苦手な野菜を克服するための献立を給食センターに提案しました。他学年の子どもたちから、「今日の給食おいしかったよ。」と感想をもらい、クラスで知恵を出し合い完成させた献立でみんなを笑顔にでき、達成感を得ているようです。

農業体験活動を通して学ん



だ食の大切さや、協力し合っで深まった仲間との絆は子どもたちが成長していく上での大きな糧となっています。

PTA活動を通して感じたこと

諏訪小学校 保護者 深井 美千代

PTA活動をさせて頂いてから三年が経ちます。最初の年は学年委員、次の年からPTA本部役員になり二年が過ぎようとしています。

初めは役員をやらなければいけない！やっておかないと後が大変！という意識が強かったのですが、PTA活動を通じて先生とお話させていただく機会が増え、コミュニケーションを取ることで子どもたちが何気なく通って

いる学校での活動(運動会、音楽会、遠足など様々な行事)には、様々な方のお手伝い、先生方の思いがこもっているんだなあと感じました。そして諏訪小学校には、地域のサポーターさんたちとの遊びの会があります。毎月一回サポーターさんが学校に来てくれ、子どもたちと遊んでくれる会です。私たちPTA役員も微力ながらお手伝いさせていただいております。子

想い

富士見台中学校 ふれあい相談員 鈴 博子

「あなたを一番大切に思っているよ。」という気持ちで七年間相談活動を行っています。

中学校の生活は、勉強、部活動、友人関係……エネ

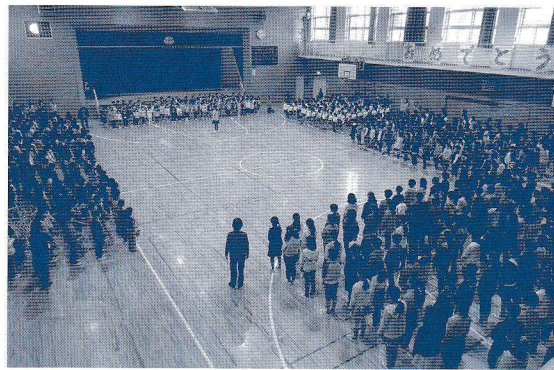
ルギーのいる忙しい毎日です。そのような中、身体と気持ちのバランスを崩してしまふようなとき、相談室を訪れます。溜まった気持ちが言葉にならず、落ち着くのに時間を要する子、涙で真っ赤になった目を腫らす言葉があふれ止まらない子どももいます。室内でゆつくり過ごすことを提案するときもあります。相談室は素直な気持ちの交換の場、そして疲れた気持ちを休める場所でもあります。

ある年の卒業式、一人の生徒から手紙をもらいました。「悩みを聞いてもらったり、心配してくれたり、嬉しい時は一緒に喜んでくれてありがとうございました。聞いてもらうことで気



持ちの整理ができ、新しい考え方ができるようになりました。学校に相談室がある意味が分かった気がします。相談室と鈴さんの存在で頑張れたから。」と。

自分の気持ちを誰かに話すことで自らを振り返り、新たな気持ちが生まれると自身で気づけたのです。安心できる環境と向き合う人がいれば、人は必ず心を開いてくれると信じています。一人一人の気持ちに寄り添い、向き合いながら、これからも相談室を通して生きる力のお手伝いをしたいと思っています。



ふじみ野小

「1年生を迎える会」

今年度は109名の1年生が入学しました。2年生から6年生の子どもたちは、1年生を温かく迎え入れていました。



いざ挑戦！「しのびの里」

体力向上を目指し、固定遊具を使った運動に全校で取り組んでいます。技の巻き物を見て、練習に励んでいます。



富士見特別支援学校

春うらら！夢いっぱいの新学期

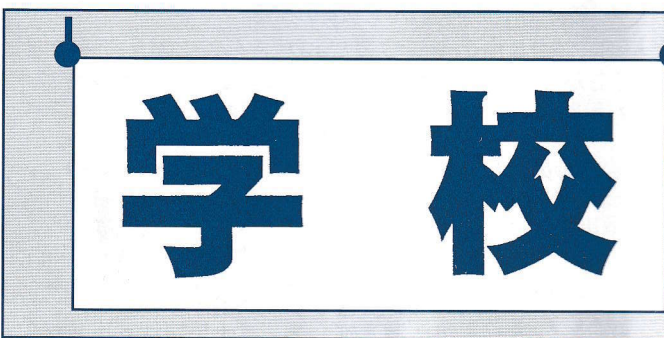
春休みを終え元気よく登校する児童・生徒の皆さん。あふれる笑顔や希望に胸をふくらませて、今年度がスタートです！



南畑小

ようこそ南畑小の新しい仲間たち

素晴らしい晴天と満開の桜の下、入学式が開かれました。南畑小伝統の鼓笛隊の演奏で、新1年生を祝福しました。



富士見台中

中庭に花を添える巨大な壁面

一昨年度の作品が全国イベントアート甲子園で最優秀賞に。その隣の壁にこの3月完成したのが写真の作品です。



鶴瀬小

新しい104名のなかまたち

4月14日「1年生を迎える会」が行われました。元気いっぱいの1年生、これからよろしくね。

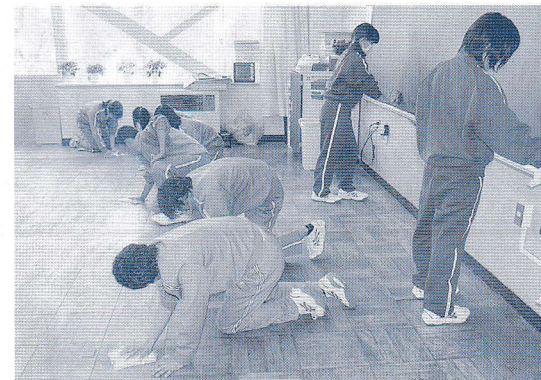
桜の花が満開に咲き誇る中で、富士見市内すべての小・中・特別支援学校で入学式が行われました。
新しい学校での生活に期待と不安でいっぱいの新入生。一学年進級し、前向きな気持ちでがんばろうという表情の在校生。それぞれの想いを胸に、平成二十九年度がスタートしました。
この学校TODAYでは、市内の小・中・特別支援学校の特色ある活動の様子を紹介していきます。様々な子どもたちの活躍する姿をご覧ください。



水谷中

全校で祝う「3年生を送る会」

3年生を送る会は、生徒会の一大行事です。多くの保護者が見守る中、恒例の学年出し物は大盛況でした。



本郷中

上級生と一緒に「交流清掃」

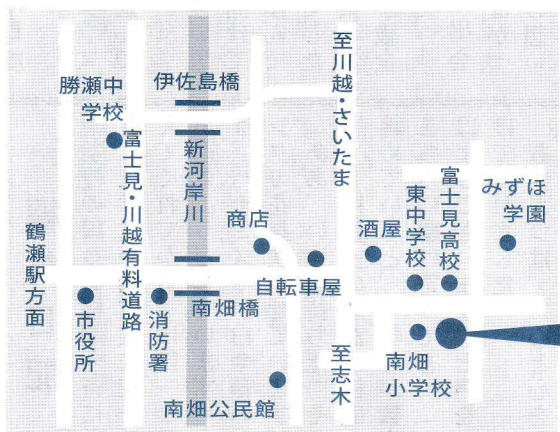
本郷中学校では、上級生と下級生と一緒に清掃を行い、中学校生活への様々な不安の解消の一助としています。



水谷小

ようこそ水谷小へ ドキドキ入学式

「1年生になったら」を元気に歌った1年生。これから始まる小学校生活を楽しみにしています。



富士見市教育相談室
(特別支援学校3階)

クリスマスパーティー、終業式等
三学期
始業式、避難訓練、感謝の集い、通室証書授与式等
以上のような体験活動の他、お子さんの状態や気持ちを十分に配慮しながら徐々に学校復帰に向けた様々な取組を行っています。
通室を希望する方は、担任の先生に申し出ていただくか、本室まで直接ご連絡ください。
(問合せ)富士見市教育相談室
TEL 049・253・5313
(担当者)指導員 石原・門田

II 市教育相談室よりII
『教育相談Q&A』

Q 「あすなる」ってどんな教室？
A 「あすなる」とは、富士見市教育相談室(富士見特別支援学校3階)に設置されている適応指導教室の名称です。この教室では、学校に行きたいけれど行けない市内の市立小・中学校に在籍する不登校児童生徒の自立と学校復帰を支援しています。
「あすなる」は、午前九時から午後二時半まで開室していますから、そのお子さんの状態に応じて自由に利用することが出来ます。等身大のありのままで過ごせる居場所です。
「あすなる」では、一人一人の不登校児童生徒の状態に合った通い方や過ごし方を本人の意思を尊重し、保護者の方ともじっくりと時間をかけて一緒に考えていきます。
また、「あすなる」では、様々な体験活動も行っています。
(開室期間と主な体験活動)
一学期
始業式、花の苗植え、難波田城公園内古民家での体験活動、宿泊体験活動、学校給食センターでの昼食会、終業式等
二学期
始業式、遠足、おにぎりパーティー、

教育委員会だより

《平成29年度富士見市教育行政方針》

- I 学びあい、高めあい、夢と希望をはぐくむ教育の推進
- 1 児童生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導による学力の育成
 - 2 人との交流や感動体験を通じた豊かな心の育成
 - 3 自ら健康・安全を守る資質・能力と健やかな体の育成
 - 4 地域の教育力を生かし教育効果を高める学校教育の推進
- II 学びあう地域社会をめざす教育の推進
- 1 家庭・地域の教育力の向上
 - 2 生涯にわたる学習機会の提供と学びのネットワークの推進
 - 3 学びあう地域社会を創る活動の推進
 - 4 市民の暮らしとまちづくりに役立つ読書活動の推進
 - 5 郷土遺産の継承と文化芸術の振興
 - 6 誰もが楽しめる生涯スポーツの推進
- III 組織の総合力を生かした教育の推進

平成29年度の学校教育だより「きんもくせい」の編集委員の先生方をお知らせします。今年度も富士見市の教育理念「人間尊重」の教育を基本とし、その実現を求めて編集に携わっていただきます。よろしくお願いいたします。

《編集委員長》 庄 司 政 之 (関沢小学校校長)
 《編集副委員長》 齊 藤 七 実 (南畑小学校教頭)
 《編集委員》 濱 野 裕 司 (水谷小学校教諭)
 富 田 織 子 (勝瀬小学校教諭)
 高 橋 圭 輔 (富士見台中学校教諭)
 福 井 智 子 (勝瀬中学校教諭)
 小 澤 雄 一 (富士見特別支援学校教諭)

☆運動会(体育祭)♪音楽会(合唱祭)等の日程

学校名	運動会・体育祭	開始時刻	予 備 日	音楽会(合唱コン)等
鶴瀬小学校	6月 3日(土)	8:50	6月 4日(日)	11月 1日(水)
水谷小学校	9月16日(土)	8:45	9月21日(木)	10月28日(土)
南畑小学校	9月16日(土)	8:45	9月20日(水)	11月 9日(木)
関沢小学校	5月27日(土)	8:45	5月28日(日)	11月10日(金)
勝瀬小学校	6月 3日(土)	8:40	6月 6日(火)	11月10日(金)
水谷東小学校	9月16日(土)	8:55	9月17日(日)	11月11日(土)
諏訪小学校	5月27日(土)	8:40	5月28日(日)	11月 2日(木)
みずほ台小学校	9月16日(土)	8:50	9月20日(水)	11月 2日(木)
針ヶ谷小学校	5月27日(土)	8:50	5月30日(火)	11月11日(土)
ふじみ野小学校	6月 3日(土)	8:40	6月 4日(日)	10月28日(土)
つるせ台小学校	5月27日(土)	8:50	5月28日(日)	11月 2日(木)
富士見台中学校	5月20日(土)	8:55	5月22日(月)	11月 2日(木)
本郷中学校	5月20日(土)	9:00	5月23日(火)	10月31日(火)
東中学校	5月20日(土)	8:50	5月24日(水)	10月27日(金)
西中学校	5月20日(土)	8:50	5月25日(木)	10月26日(木)
勝瀬中学校	5月27日(土)	8:45	5月30日(月)	10月25日(水)
水谷中学校	9月 9日(土)	9:00	9月12日(火)	11月 1日(水)
富士見特別支援学校	5月27日(土)	10:00	5月28日(日)	11月18日(土)



「おはようございます。」
 桜も満開を迎えた四月十日、
 始業式の朝は、一つ学年が上
 がって自信に満ちあふれた表
 情の子どもたちの元気な挨拶

たのは、子どもたちの笑顔で
 した。
 一人一人を見つめると、ど
 の子も「これからどんな一年
 が始まるのだろう」といった
 期待のこもった顔をしていま

しました。その中で子どもた
 ち一人一人が、目指したいク
 ラス像について熱く語ってく
 れました。「明るく楽しいク
 ラスにしたい」「みんなで協
 力するクラスにしたい。」「元

気がいっぱいなクラスにした
 い。」
 「いじめのない優しいクラス
 にしたい。」「何事にも進んで
 挑戦するクラスにしたい。……
 一人一人のクラスへの強い思
 いを受け止め、実現に向けて
 子どもと一緒に頑張って歩ん
 でいこうと決意した瞬間でした。
 自己紹介の後、クラスみん
 なで初めてレクをし、学級全
 体が笑顔で包まれました。
 「笑顔でつながった出会
 い」から、「笑顔でつながっ
 た一年間」へ。今の私の想い
 です。

笑顔でつながる

水谷小学校教諭

松尾 信



編集日記

学校の周りの桜が一齐に咲
 き、入学式や始業式に花を添
 えてくれてから、ほぼ一か月
 が過ぎようとしています。今
 は、ハナミズキが白や薄いピ
 ンクの花を咲かせています。
 「ああ、いい気持ちだ」そう
 思って校長室の窓から校庭を
 眺めていると、一年生が数人
 こちらに駆け寄ってきて「お
 はようございます」と声をか
 けてくれました。
 あいさつは、「心と心をつ
 ながく」と言われます。人と
 人との間には窓があつて、気
 持ちのよいあいさつができる
 と、その窓を通して相手の心
 にも気持ちのよさが伝わりま
 す。反対にいやいやあいさつ
 をすると、いやな気持ちが相
 手に伝わってしまいます。
 この四月に新しい学校に赴
 任して参りましたが、子ども
 たちや先生方が毎日気持ちの
 よいあいさつをしてくるの
 で、私はすがすがしい気持ち
 で一日のスタートを切ること
 ができます。
 そして、私自身も「心と心
 をつなぐ窓」をモットーとし
 お互いの信頼関係を築いてい
 けるよう日々心がけています

(庄司)